

1日

ベッドに座り

窓は30cm だけ開け放して

僕は、果てしのない1日をはじめた

テレビのスイッチを入れる

ニュースが流れる

僕にとってどうでもよいニュース

次のチャンネルでは

ドラマを流している

ただ、流れている

次のチャンネルでは

啓示的な政府広告

その次には

バライティ

そして次は外国映画

次はドキュメンタリー

僕は、流れるがままにしておくことにした

ボリュームはごくごく小さくして

パソコンのスイッチを入れる

インターネットの検索画面が現れる

どっかの誰かのブログを読んでみる

昨日の出来事

一昨日の出来事

また別のブログを読んでみる

自分自身がいかに生きているか

自分自身がいかに愛しているか

釣り日誌を見してみる

朝3時に漁港の突堤に到着

2時間ほど当りがなかったが

しばらくしてアジが入れ食いとなる・・・

僕はフリーセルをした

連勝は7で止まった

次は2で止まった

僕は、PCを立ち上げたままにしておくことにした

本を読んでみた

小説

あるフリーターとOLの切ない恋物語
劣等感と後ろめたさ
そして
あじけない仕事の毎日
そのふたつが混じり合う
彼らにとってどうでもよい世界
しかし
ほんの少しでいいから
その手を取ってみたい世界
僕は、本を開いたままにしておくことにした

携帯電話でメールをした
Kと、Dと、Wに
Wからは返事が来た
さらに僕は返信した
またすぐに返事が来た
更に僕は返信した
するとWは
じゃあな、出かけるから、と返信を結んだ
僕は携帯を胸ポケットに入れておく事にした

プラモデル制作の続きをした
組み立ては終わっていて
塗装が残っていた
緑色や黄色を塗ってゆくと
模型らしくなっていった
シンナーの刺激臭が部屋に満ちたので
窓をいっぱいに関け放した
冷たい空気がしずかに部屋に忍び込んできた

テレビの音を完全に消して
音楽を聴くことにした
社会なんぞとは関係の無い
純粋な世界をうたう歌や音楽
くもりのないところ
僕は今や映像と音のコラボレーションの中に居る
ゆったりと温泉に浸かっているような気分

その間にもいろんなことをした

食事はスパゲティ
勧誘の電話の対応

その間にもいろんな音がした
小さい子供たちの遊ぶ声
おばさんたちのおしゃべり
鳥のしわがれた声
低空飛行の爆音
救急車のサイレン
新聞配達バイクの音

その間にもいろんなものが見えた
路地を抜ける自転車
車 いろいろな車
太陽、雲
スズメ
そして、歩く人、人、人

穏やかで
果てしのない1日
今のところは何の不足もない

明日は働かなくてはならない
けれどまたしばらくすれば
こうした1日を過ごすことができるだろう

弱肉強食の社会が何だろう
恐竜たちには好きなようにさせておけばよい
彼らは競争することしか考えない
肥大化した自分の姿を見ようとはしない
僕はいわば哺乳類の祖先なのだ
静かに、したたかに生きてゆこう
用意された社会の便利なツールを利用して
果てしの無い1日を過していこう

(2007.1.8)